



西尾いきものふれあいの里だより

10月号

2024.10.1

さとやま

10月の里といきもの



今年は9月になっても猛暑日が続き、お彼岸頃になってやっと気温が落ち着いてきました。10月にはさすがに涼しい空気になってくるでしょう。爽やかな風が感じられるようになると、里の様子も秋らしくなってくることでしょう。

センターのシンボルでもある、テラス前の**アベマキ**の木の下には、たくさんのどんぐりが落ちています。一般にブナ科の植物の果実を「団栗（どんぐり）」と呼びます。

アベマキのどんぐりは、帽子とも呼ばれる殻斗が、イソギンチャクのような長い鱗片でおおわれています。**クヌギ**に似ていますが、やや小粒で、殻斗の鱗片がクヌギよりも長いことで見分けられます。また、葉の裏に毛が密生しているので白っぽく見えます。里では、クヌギの木は見かけません。





里で一番多く、ビオトープの辺りにも落ちていているのは、**コナラ**のどんぐりです。日本で一番一般的などんぐりで、殻斗が浅いお椀形で、鱗片がうろこ状です。葉には外側に鋸歯があり、葉柄は長くなっています。

ビオトープ上の池や長円寺では、**アラカシ**のどんぐりがみつかります。殻斗に横縞模様があり、実にはっきりした縦縞が入っています。葉は上半分が鋸歯状です。どんぐりの中では最も実りの時期が遅く、12月頃でもよく落ちています。



長円寺横の道でたくさん落ちていているのは、**スタジイ**です。どんぐりは殻斗に覆われています。葉の表側が濃緑色で、裏側が白色から淡茶褐色に見えます。

縄文時代から、日本ではどんぐりが食べられてきました。しかし多くのどんぐりは、タンニンが多量に含まれていて、水に漬けるなどのアク抜きをしないと渋くて食べられません。ただ、シイ属のスタジイ、**ツブラジイ**、**マテバシイ**はそのまま調理できます。そこで、飢饉のときの非常食として、寺によく植えられたのだそうです。

ところで、食べられるどんぐりのなかまと言え、これを忘れてはいけません。



クリもブナ科なので、広義ではどんぐりの仲間と言えます。イガ状の殻斗に、3つの実が包まれています。写真は1つだけ受粉に成功したものです。

歴史の中で比較的味がよく、育てやすいクリが、食用として広く栽培されるようになったようです。

9月はこんな生きものも見られます



この頃、センターゾーン全体では、**ミゾソバ**などのタデ科の植物の花が色々見られます。菖蒲池横の柿畑の**サワフジバカマ**の花は、旅をする蝶として有名な、**アサギマダラ**の雄が好んでとまります。ひつつきむしの**コセンダングサ**や、秋に咲くアザミ、**スズカアザミ**にも訪れます。しかし温暖化のためか、最近アサギマダラは見つかりにくくなっています。

炭焼き小屋の側では、里ではここでしか見つからない**ヨメナ**の花が、里全体ではよく似た**ノコンギク**の花が見られます。ノコンギクはスプレー咲きのようにになるので見分けられます。



センターのトイレから出た水路、万灯山の桜並木側の登り口付近、長円寺などでは、**ホトトギス**の花が咲いています。

万灯山山頂は、**ツリガネニンジン**と**アキノキリンソウ**、の花畑になっています。涼しくなった里で、こんな秋のいきものを探してみてください。

9月の行事紹介



「楽しい絵手紙」の講座を9月8日（日）に開催しました。

今回の講座は、絵手紙の作成経験者の方が集まりました。初めに、残暑厳しい中、絵手紙の題材となるふれあいの里の色々な植物を見て回り、採取してきました。講師のアドバイスを得ながら、はがきと木片に草花などを描き、立派に完成させた木片の作品は、ネイチャーセンター展示室で見ることができます。

10月の行事予定

6日（日）	棚田でお米を作ろうⅡ（稲刈）	60名	AM 9:30～11:30	当園職員
20日（日）	棚田でお米を作ろうⅢ（脱穀）	60名	AM 9:30～11:30	当園職員

内容：実った稲をカマで刈取り、「はざ」に掛けて乾燥させ、稲穂を脱穀機にかけ籾にします。
太陽の光と自然な風で乾燥させるので、甘くて美味しいお米に出来上がることでしょ。

※「棚田でお米を作ろう」を2回受講された方には、お米をプレゼントします！また、雨天等で中止した場合は、1週間後の予備日に開催します。【予備日：6日⇒13日・20日⇒27日】

26日（土）	秋の里山でキノコを見つけよう	20名	AM 9:30～11:30	石川まゆみ
--------	----------------	-----	---------------	-------

内容：秋の里山を散策し、季節の変化を、キノコを通じて体験してみませんか？
様々なキノコを観察し見分け方や特徴を学びましょう。

11月の行事予定

17日（日）	ひっつき虫のしくみを観察しよう	20名	AM 9:30～11:30	高須桂子
--------	-----------------	-----	---------------	------

内容：秋の里のやっかいもの「ひっつき虫」、よく見ると、様々な戦略が見えてきます。
秋の生き物を観察しながら、ひっつき虫の知恵を学びましょう。

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下**の場合は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候により**、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28～1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課